

2019年12月26日

プリンスホテル
食品ロス削減に向けた取り組みとして
全国のbuffetレストランにて食品ロス削減啓発 POP、ポスターを展開

株式会社プリンスホテル(本社:東京都豊島区南池袋 1-16-15 代表取締役社長:小山正彦)は、2019年5月に「食品ロス削減に向けた実施計画」を策定し、世界的な問題となっている食品ロスに対する取り組みを進めております。その第一段階として2019年5月に軽井沢プリンスホテルのbuffetレストランにおいて食品ロス削減手法に関する調査を実施いたしました。その調査結果を検証し、対応を検討した結果、2019年12月27日より当社が運営しているホテルのbuffetレストランにおいて、今回の調査で一定の効果が見られたbuffetボード上へのPOP掲示およびレストラン店頭への啓発ポスターの掲出を行い、食品ロス削減に取り組んでいくことに決定いたしました。また、更なる食品ロス削減に向け「需給予測モデルの開発」を進めてまいります。

一度にたくさん取り分けずに、
何度でも取りにきてください。

Please do not pile up your plate too high
at one time, and come to get more refill later.

请分多次取餐、一次不要取太多。



このポスターは石灰石から生まれた環境に優しい新素材 LIMEX を使用しています

啓発POP(イメージ)



プリンスホテルは
“食品ロス削減”に真摯に取り組んでおります。

料理を残さずに
おいしく食べることが
環境を守ります。

西武グループはグループの経営理念である
「ブルービジョン」に基づき、
持続可能な社会の実現に向けた取り組みを
「サステナビリティアクション」として
積極的に推進しています。

日本では、また食べられるのに
捨てられてしまっている「食品ロス」が
年間約六百四十万トンも発生しています。

プリンスホテルは「西武グループ環境方針」に基づき、
環境負荷低減、環境保全に関する取り組みとして、
「食品ロス削減」に真摯に取り組んでおります。
(※農林水産省及び環境省「平成二十八年度推計」)

食べものに、
あつたないを、
もういちど。
WORLDWIDE 03-6709-3302

このポスターは石灰石から生まれた環境に優しい新素材 LIMEX を使用しています

啓発ポスター(イメージ)

◎本件に関する報道各位からのお問合せ
株式会社プリンスホテル 広報部
TEL:03-6709-3302 FAX:03-6709-3400

Seibu Group
でかける人を、ほほえむ人へ。

【食品ロス削減啓発 POP、ポスターの展開について】

当社が運営する全国 37 ホテルのブッフェレストラン(朝食会場として使用している宴会場を含む)にて、ブッフェボード上への食品ロス削減啓発 POP の掲示およびレストラン店頭への啓発ポスターの掲出を 2019 年 12 月 27 日(金)より進めてまいります。

【食品ロス削減に向けた実施計画】

世界的な問題となっている食品ロスに対し、当社は国内最大級のホテルチェーンとしてその課題に取り組むべく、「食品ロス削減に向けた実施計画」を 2019 年 5 月に策定いたしました。この計画は 2019 年 5 月より「調査」、「検証」、「需給予測モデルの開発」、「運用」を段階的に行い、食品ロス削減に取り組んでいくものです。

2019 年 5 月に策定した【食品ロス削減に向けた実施計画】

1. 調査

- ・ブッフェレストランにおける提供食品量、実消費量、食品ロス量の計測調査
- ・お客さまへのアンケート調査

2. 検証

- ・調査結果をもとにした「仕入れ」「調理」「提供」の食材フローの作成

3. 需給予測モデルの開発

- ・調査結果、施設属性、外部環境を踏まえた需給予測モデルの開発

4. 予測モデルに基づいた食品提供の実施

【調査の内容】

調査はみずほ情報総研株式会社(本社:東京都千代田区神田錦町二丁目 3 番地 代表取締役社長:向井康真)と業務委任契約を締結し、2019 年 5 月下旬に軽井沢プリンスホテル内のブッフェレストランにて朝食営業時に実施しました。調査内容は食品ロス削減効果が見込まれる、レストラン内への食品ロス削減の啓発 POP の掲示および 9 分割のパレットスタイルプレートを導入し、導入前後の実消費量や食品ロス量等の計測を実施し、また、ご利用のお客さまへのアンケートを行いました。



啓発 POP の掲出



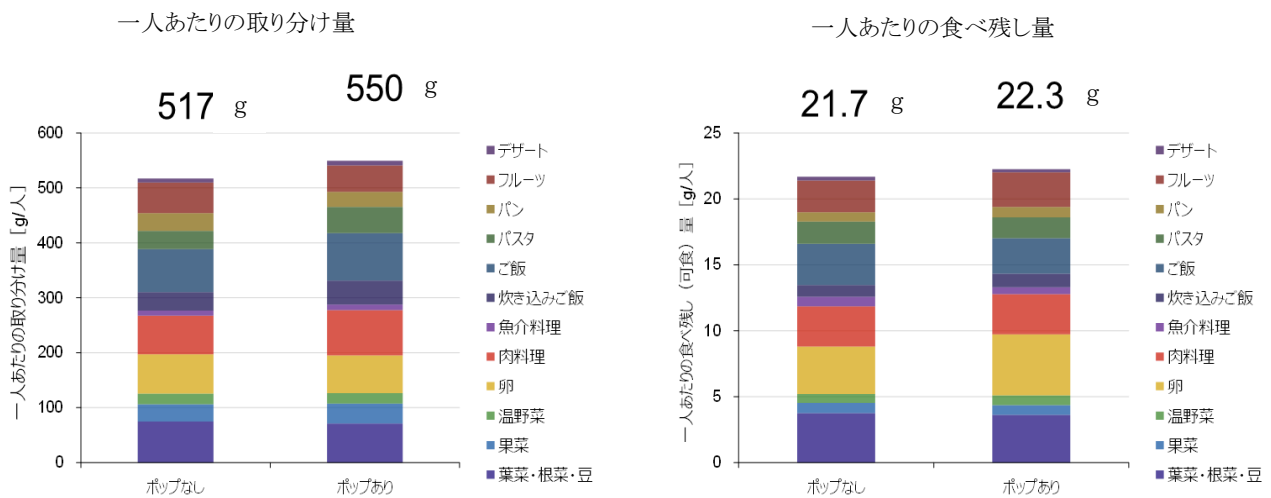
9 分割のパレットプレートの導入

【調査結果概要】

(1)啓発 POP の掲示による効果の調査結果

啓発 POP を掲示した期間は、一人あたりの取り分け量が 550g で掲示していない期間よりも 33g 増加しました。

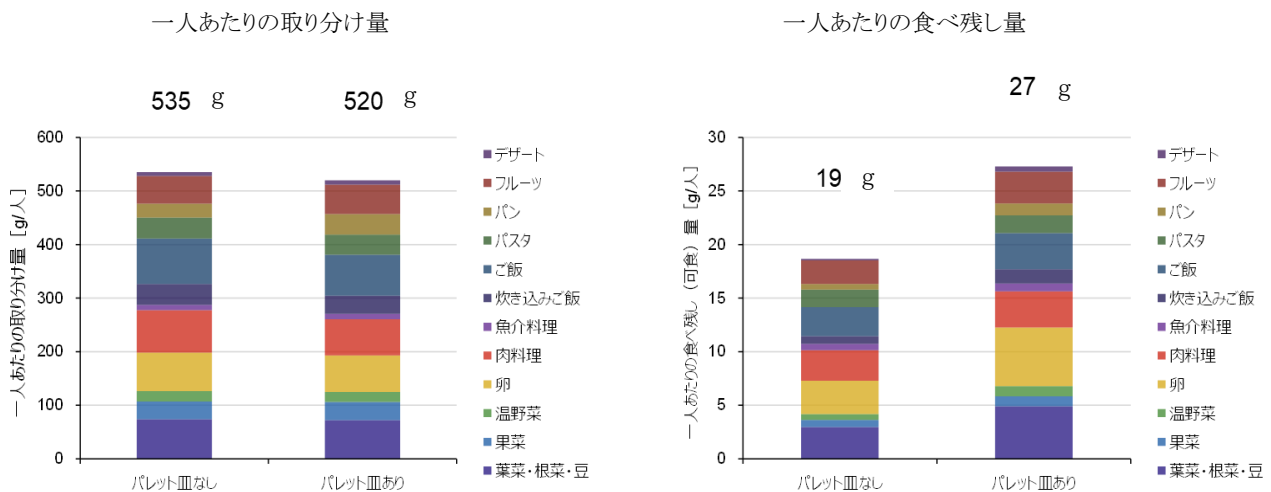
一方で食べ残しは掲示した期間が 22.3g、掲示していない期間が 21.7g とほぼ同程度でした。料理を取り分ける量が増えると、その分食べ残しも増える可能性があります。啓発 POP により食べ切りを意識することで喫食量が増えたにもかかわらず、結果として食べ残しが同程度となった可能性があることから、**啓発 POP に食べ残し削減の効果がある**と考えられます。



(2)9 分割のパレットスタイルプレート導入効果の調査結果

一人あたりの取り分け量は、パレットスタイルプレートが平均 520g で従来の皿と比較して 15g の減少となっており、**料理の取りすぎの抑制効果が得られた**と考えられます。

しかしながら、一人あたりの食べ残し量はパレットスタイルプレートは平均 27g と従来の皿と比較して 8g の増加となり、期待した効果は得られませんでした。



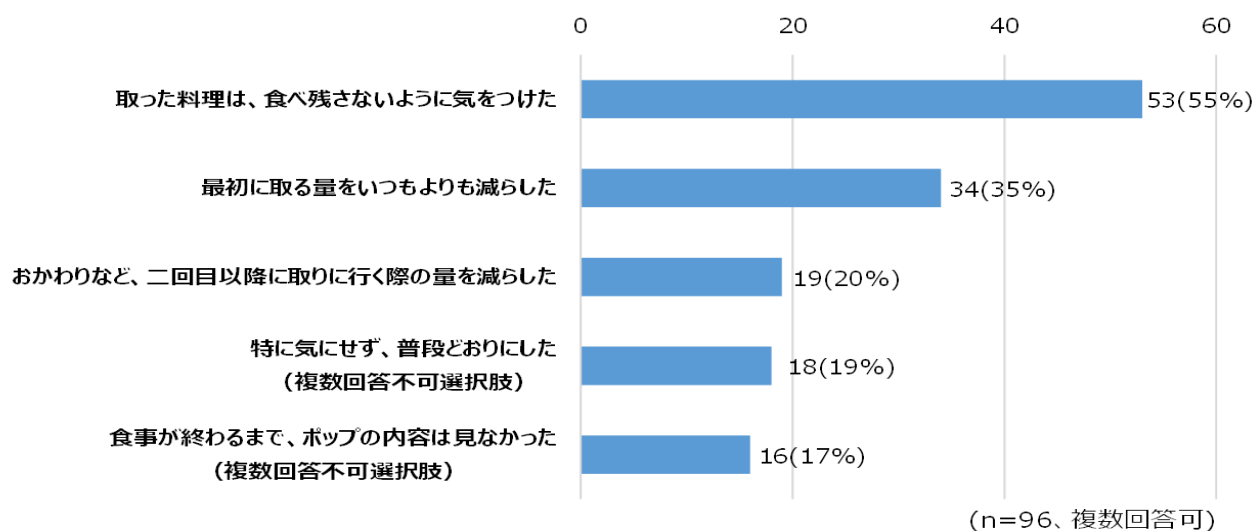
(3)アンケートの結果

お客さまに啓発 POP、9 分割のパレットスタイルプレートのそれぞれについてご意見をいただきました。

①啓発 POP 掲示について

啓発 POP を見た後の行動として最も多かったものは「取った料理は、食べ残さないように気をつけた」が 55% でした。次に多かった行動は、「最初に取りる量をいつもよりも減らした」の 35% でした。これらのことから、啓発 POP により、大皿からの盛りすぎの抑制と食べ残しの削減の両方への訴求ができていていると考えられます。

啓発ポップを見て変えた行動

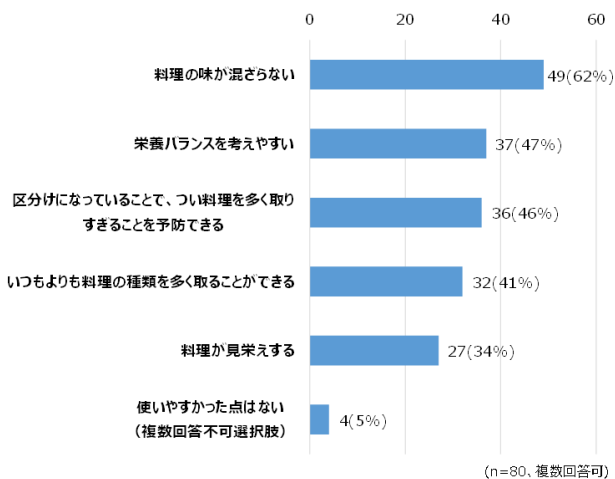


②9 分割のパレットスタイルプレートについて

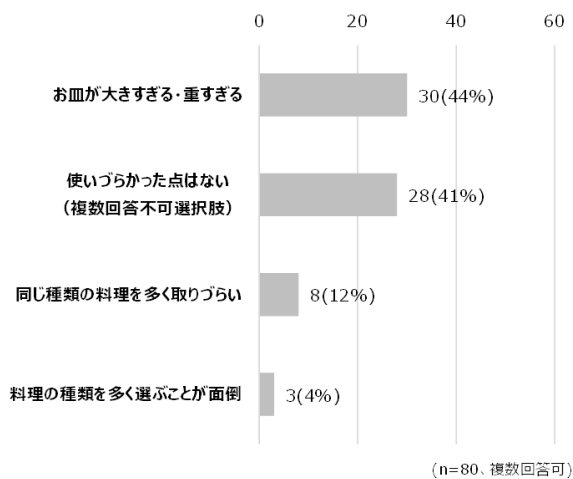
良かった点としては、「料理の味が混ざらない」が 62%、「栄養バランスを考えやすい」が 47% となり、食べ残し削減効果が期待できる「分けになっていることで、つい料理を多く取りすぎることを予防できる」も 46% となりました。

今回の調査では期待した効果は得られなかったものの、良かった点が改善した方がよい点よりも多くの回答を得ており、お客さまからはパレットスタイルプレートは概ね好評であったと考えられます。

良かった点



改善した方がよい点



【需給予測モデルの開発】

当社の食品ロス削減に向けた次の段階として「需給予測モデルの開発」に着手いたします。そのため当社はみずほ情報総研株式会社と新たに業務委託を締結いたしました。みずほ情報総研株式会社の協力のもと、2020年3月までに当社の各施設の「想定廃棄量基準」を設定する作業を進めてまいります。そして、その基準と現状の廃棄量を照らして、各施設の廃棄量削減の目標値を設定し、目標達成のための取り組みを実施してまいります。

【西武グループのサステナビリティアクション】

西武グループでは、グループの経営理念である「グループビジョン」に基づき、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを「サステナビリティアクション」として積極的に推進しております。また、特に環境に関する方針として「西武グループ環境方針」を策定し取り組みを進めております。

当社では、西武グループの中核を担う企業として自然エネルギーによる発電事業や自治体と連携した環境保全活動、使い捨てプラスチック製ストローの廃止やゴルフ場における使い捨てビニールの廃止などの取り組みを実施してまいりました。こうした活動に加え、国内最大級のホテルチェーンとして食品ロス削減に向けた取り組みを実施していきます。

今後もグループビジョン、サステナビリティアクションおよび西武グループ環境方針に基づき、環境負荷低減、環境保全に関する取り組みを進めてまいります。